舞台には女子大生が一人、防寒着を着ている。
ゴミ袋を片手に、あったか～いほっとレモンを飲みながら、タバコを吸っている。
男がビール缶を片手に前を通りかかる

A　久しぶり、私を覚えてる？

B　えっ・・・と　ごめん篠原さんだっけ？

A　冬は嫌いだけど冬に吸う煙草は好き

B　ズレすぎ

A　私は最近気狂いを起こしている

Aドアを開ける

A　ほら入って

B　いいの？

A　いいのよ、誰も入ってこないから

B　よくこの部屋きてるの？

A　やーめーてーよー恥ずかしいから

B部屋の中でおもむろにビール缶をつぶし始める

A　は？なにしてんの

B　飲んで缶つぶすまでが缶ビールの楽しみだろ

B　ほら

B、Aに缶をわたす

A　なんで私がそんなことしないといけないのよ。あなたがやればいいのよ。

B　え?やりたそうにしてたじゃん

A　ほらまたそうやって人のせいにする・・・・

A　夢の中だったらいいのに。

A　エッチな夢を見た

私が初めてこの部屋に来たときのこと。
隣の部屋、けっこう聞こえんのね…
みんなにバレたらマズイもんね・・・・

私のこと好きっていって・・・

B　えぇ・・・・・。えぇ〜・・・・。
それはどうだろうか
寒暖差えぐい
ツンデレかよ

A　ここにしか居場所がないの

B　・・・・なんか、悲しくさせてごめん、
・・・・ごめんって！！

A　僕のアンチは信念なきアンチなのだ。自己嫌悪する自分を愛している。

B　ちょとつもうしんってやつか

A　別に。

そんなことよりももっと価値のある話をしよう

B背後に気配を感じる

B　いや、あんた誰？

C　数秒先も未来っちゃ未来。

C、倒れる。
B反応し、Aの方を振り返ると、
Aがカッターナイフを手にしている。

B　ちょっと待ってよ

A　ごめんなさい。でもあなただって・・・。

B　もう帰らないとだから、また今度

A　月がまんまる！おっきいですね。

カギ、あいてんのよ。

B　誰が信じるんだこんなこと